



2023年10月27日

各位

会社名 東洋テック株式会社
代表者名 代表取締役社長 池田 博之
(コード番号9686 東証スタンダード)
問合せ先 常務執行役員管理本部長 入浦 直仁
(TEL06-6563-2111)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2023年10月27日開催の取締役会において、自社の資本コストや資本収益性についての現状を分析・評価し、改善に向けた方針を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現状評価

当社は、昨年度よりスタートした第12次中期経営計画(2022年4月～2025年3月)において、『構造改革への挑戦』をスローガンに、「収益構造の改革」および「サステナビリティ経営の徹底」を推し進めております。

ビル管理事業の拡大により、売上高は12期連続の増収を達成する一方で、断続的に実施してきたM&Aに伴う費用負担等により収益に関しては低水準で推移しており、エクイティ・スプレッド(ROE-資本コスト)がマイナス、PBRも0.5倍前後で推移する状況となっており、投資家の期待に十分応えることができていないと認識しております。

	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期
売上高 (百万円)	23,233	24,842	26,000	27,465	30,139
営業利益 (百万円)	1,029	1,079	697	848	844
当期純利益 (百万円)	705	861	560	459	741
ROE (%)	3.39	4.13	2.58	2.25	3.61
PER (倍)	17.18	11.40	18.97	22.42	13.15
株価(終値) (円)	1,148	941	1,018	978	955
PBR (倍)	0.58	0.47	0.49	0.51	0.47

2. 改善に向けた方針

- ▶ ROEを重要指標として認識し、①成長戦略の実行／②株主還元・資本政策の推進／③IR活動の拡充により、エクイティ・スプレッドを改善するとともにPBRの向上をはかる。
- ▶ 目指すべきROE水準
2024年度末6%水準(現中計(第12次)にて公表) ⇒ 2027年度末8%水準

3. 具体的な取組み

(1)成長戦略の実行

- ✓ 既存事業の収益改善
サービス品質の向上等により、適正な価格転嫁への取組み強化をはかる。
- ✓ 積極的な M&A 投資
現中計にも掲げているとおり、引続き戦略投資枠を設定し事業領域の拡大・新規事業への進出を推進する。
- ✓ 資産ポートフォリオの見直しによる資本効率の引上げ
保有有価証券の圧縮にあわせ、本業(警備・ビル管理)とのシナジーが見込める不動産投資を拡充し、資本効率の引上げをはかる。

(2)株主還元・資本政策の推進

- ✓ 配当政策の見直し
適切なキャッシュアロケーション管理に基づく業績連動配当(配当性向)のみならず、業績に左右されない安定配当の観点から、株主資本配当(DOE)の要素も意識した配当政策を検討する。
- ✓ 株主優待制度の新設
株主に対する日頃の支援の感謝とともに当社株式への投資魅力の向上をはかる。
- ✓ 流動株増加に向けた取組強化
法人株主との交渉による流通株式拡大をはかる。

(3)IR 活動の拡充

- ✓ 個人投資家説明会の継続実施
年2回の実施を継続し、投資者との対話の機会を設ける。
- ✓ 経営情報開示の充実
サステナビリティ活動等、非財務情報の開示の充実をはかる。

以 上